

# — 第926回九大原子核セミナー —

講師： 蓑茂 工将 氏 (大阪大学 RCNP)

演題： ノックアウト反応で観測するカイラル有効場理論 3 核子力の効果

日時： 8月5日(水) 16:30 ~

† 今回は通常と曜日が異なりますのでご注意ください

場所： 理学部 物理大学院講義室 (理学部 2号館 2階 2263室)

## 概要

3核子力の解明は核物理の最重要課題のひとつであり、これまで主として、少数核子系、核物質において広く研究がなされてきた。カイラル有効場理論による核力研究の飛躍的進展も相俟って、3核子力についての理解は順調に深められている。最近では、中性子星の物理に関連し、多体系の散乱を利用して有限密度での3核子力の振る舞いを直接調べるアプローチが試みられている。そのような状況の中、我々は、ノックアウト反応を利用した3核子力効果の“観測”に新しく取り組んでいる。弾性散乱にはない特徴を活かし、核子多体系の反応におけるカイラル有効場理論 3核子力の役割を明らかにすることが本研究の目的である。

この講演では、まず3核子力効果を探るいくつかの研究を概観し、それらと比べた時のノックアウト反応を用いる利点を説明する。その後、現在までの解析結果を紹介し、ノックアウト反応で3核子力効果が顕著になる観測量や実験条件を議論したい。

連絡先: 九州大学 理学部 物理学教室 理論核物理研究室

TEL: 092-642-2111 (内線 8357)

渡邊 慎 (s-watanabe@phys.kyushu-u.ac.jp)

平成 27 年 7 月 22 日